

「Choju」だより

株式会社エース・E&L
代表取締役社長 津田 博通

【病院の待合室で呼び出しが聴こえない方】

「Choju」は、2016年11月販売開始以来、様々なお客様のご意見や困っている問題を解決すべく対応して参りました。今回は、病院に通院している87歳の親父さんのお話です。

(病院呼び出しと先生の説明が聴こえない方の苦勞)

87歳のMさんは、いろいろ病気があり病院に薬をもらいに通っているそうです。耳が聴こえなくなり、看護婦さんの呼び出しが聴こえず、何度も呼び出されてご迷惑をかけていたそうです。また、担当のお医者さんの説明も聴こえず、単に薬をもらってくるだけの通院でした。A社の新聞を近くの販売店から、毎日配達してもらい購読しておりましたが、ある日この販売店さんが「CHOJU」の記事を書いたパンフレットを織り込み広告として配布しました。この記事を見て何とか聴こえを取り戻したいと思い、購入に来社しました。すぐ試聴をしてもらい、他人の話やTVの音声が聴こえることを確認し、試聴のため貸し出ししました。

数日たって電話があり来社されました。購入を決断して、財布にお金を入れてこられました。すぐ購入の手続きを行い、その後病院での出来事を自分の持病も含めて、1時間以上私に話をされました。話を聞いていると、すでに同世代の友人は亡くなられて、話相手がない生活の様でした。しばらくぶりに人と話が出来たため、1時間以上独演会を行いました。多分他人と話をできることが大変うれしかったと思います。私は、この親父さんの話をおとなしく聞いていました。

A新聞の販売店さんは会社の近くにあります。この会社の社長さんは、「CHOJU」の良さを良く認識し、自分のお客様に「CHOJU」のパンフレットを自作し、新聞と一緒に投函しております。この投函の記事を見られた方が、次第に来社される様になりました。最近では、相模原市のA新聞の販売店さんが同じことを始められ、お客様が投函されたパンフレットを持って「CHOJU」の試聴に来社されます。

皆さんが言われるのは、パンフレットの下にA新聞の社名がローマ字で入っているから、信用できるといわれます。E&Lの会社名では、まだ信用がないという事を思い知らされました。あるお客様は、「E&Lだけのパンフレットでは、ごみ箱行だよ」と明言されました。本当に人に信用されるという事は大変なことだ、と良く理解しました。今後も、この販売店さんとは良い関係を築きお互いの販売に寄与し、更にお客様が喜ぶものを提供したいと考えています。

以上